

学習指導案の形式（例） 小学校社会科

第○学年○組 社会科学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。

2 単元の見どころ

- (1) 「知識及び技能」に関する目標（例：～できる。） [知識及び技能]
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～できる。） [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～しようとする。） [学びに向かう力、人間性等]

- ◇学習指導要領の目標及び内容（指導事項）を踏まえて設定する。
- ◇社会科の究極的なねらいである「公民的資質の基礎を養う」ことを意識して設定する。
- ◇(1)～(3)の文末には、[資質・能力名]を明記する。
- ◇児童の立場で書く。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①例：～している。	①例：～している。	①例：～しようとしている。

- ◇「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準は、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項の文末を「～している。」として作成する。
- ◇「主体的に学習に取り組む態度」については、粘り強い取組を行おうとする側面と、自らの学習を調整しようとする側面を含めて評価規準を作成する。その際、学習過程に沿って「社会的事象について、予想や計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか」や、「よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしているか」等の学習状況を捉えられるよう留意して作成する。

4 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	ねらい・学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	○例：～できる。 ○例：～の見通しをもつ。～を書く。 ◇ねらいを明確にして書く。 ◇児童の立場で書く。	[観点①]（方法） ○例：～している。 ～しようとしている。 ◇「3 単元の評価規準」の観点と一致させ、番号でつなげて書く。
	2		

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観…本単元で身に付けさせたい資質・能力、本単元を取り上げる意義や単元・教材と児童の関係等を書く。
- ◇児童観…本単元に関する興味・関心、資質・能力の状況、既習事項の定着度等について書く。本単元において目指す児童の姿等について書く。
- ◇指導観…指導・支援の重点、学習形態、その他の配慮事項等、児童のよさや可能性を生かすような指導方法の工夫等を書く。
- ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書き、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
- ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題、課題についての取組等を書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

例：～することができる。

(2) 展 開

- ◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇児童の立場で書く。

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2 (1)	<p>めあて</p> <p>◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p>	◇本時の目標と整合した評価規準を具体的に書く。抽象的ではなく、実際可能なレベルまで具体化する。
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。	○例：～することで、～できるようにする。	◇評価の場面は1、2箇所絞る。
(2) 例：～について話し合う。	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される児童の反応 ・地図、グラフ等、資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手だてを書く。</p>	◇評価規準に合わせて、評価の観点を明記する。
◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。		◇評価方法を具体的に書く。
◇授業展開については、「岡山型学習指導（授業5）」を参考にする。		○例：～している。 [評価の観点] (評価方法)
3	○	◇評価方法の例
4	<p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述 ・白地図にまとめた内容等
5	○	
	<p>◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。</p>	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。